



伊賀市 議会だより

No. 17
平成21年5月15日

新しい議会体制が決まりました!



坂井 悟 議長



中本 徳子 副議長



田山 宏弥 監査委員

私たちが議長、副議長、監査委員に就任いたしました。

議長就任ごあいさつ

このたびの役員改選により、議長の重責を担うことになりました。

伊賀市がめざす“地域が輝き、ひとが輝く”とは市民参画のもと、それぞれの地域が特性を生かしながら調和のとれたまちづくりを実現していくことであると考えます。

地方財政たいへん厳しい中、課題は山積しておりますが市民の声を市政に反映すべく、全力をあげて取り組んでまいりたいと考えております。初心にかえって、議会機能の健全な運営を図るため、微力ながらその職責を全うしてまいります所存であります。

どうぞよろしくお願いたします。

ひとが輝く地域が輝く

～住みよさが実感できる自立と共生のまち～

主な掲載内容

新しい議会体制 委員の紹介	・	・	・	・	・	P 2～P 3
審査した21年度予算	・	・	・	・	・	P 4～P 5
会派を代表して 質問します	・	・	・	・	・	P 6～P 7
ここが聞きたい 一般質問	・	・	・	・	・	P 8～P 10
審議した結果を公表します	・	・	・	・	・	P 11～P 13
常任委員会・特別委員会で審査しました	・	・	・	・	・	P 14～P 15
議会のうごき等	・	・	・	・	・	P 16

委員の紹介をします

(◎は委員長 ○は副委員長)

審査機能をもつ 常任委員会

伊賀市では、総務・教育民生・産業経済・建設水道の4つの常任委員会があります。市（行政）から提案された議案や、市民から提出された請願書など、より詳細に専門的に審査を行います。さる4月14日の臨時議会で編成しました。

教育民生

【審査する内容】

- ・ 人権政策部の所管に属すること。
- ・ 生活環境部の所管に属すること。
- ・ 健康福祉部(社会福祉事務所含む)の所管に属すること。
- ・ 総合市民病院の所管に属すること。
- ・ 教育委員会の所管に属すること。



◎桃井 隆子 (畑 村)



○今井 由輝 (榎 山)



生中 正嗣 (岩 倉)



中井 洸一 (丸 柱)



中盛 汀 (下 郡)



百上 真奈 (長 田)



馬場登代光 (治 田)

総務

【審査する内容】

- ・ 総務部の所管に属すること。
- ・ 企画振興部の所管に属すること。
- ・ 消防本部の所管に属すること。
- ・ 会計管理者の所管に属すること。
- ・ 選挙管理委員会の所管に属すること。
- ・ 監査委員の所管に属すること。
- ・ 他の常任委員会の所管に属さないこと。



◎安本美栄子 (緑ヶ丘南町)



○稲森 稔尚 (柏 野)



上田 宗久 (大野木)



中谷 一彦 (桐ヶ丘)



奥 邦雄 (湯 舟)



森岡 昭二 (柘植町)



森永 勝二 (上野桑町)

充実した議会にするための 議会運営委員会

議会を円滑・能率的に行うため、委員会で日程や審議する内容を審査し決めます

【審査する内容】

- ・ 議会の運営に関すること。
- ・ 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること。
- ・ 議長との諮問に関すること。
- ・ 議案、陳情等の審査。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ◎岩田 佐俊 | ○馬場登代光 | 西澤 民郎 |
| 本城 善昭 | 北出 忠良 | 渡久山カナエ |
| 奥 邦雄 | | |

建設水道

【審査する内容】

- ・建設部の所管に属すること。
- ・水道部の所管に属すること。



◎中岡 久徳（市 部）



○渡久山カナエ（希望ヶ丘）



近森 正利（東高倉）



森 正敏（阿 保）



松村 頼清（比 土）



中本 徳子（高 尾）



坂井 悟（柘植町）

産業経済

【審査する内容】

- ・産業振興部の所管に属すること。
- ・農業委員会の所管に属すること。



◎空森 栄幸（菖蒲池）



○西澤 民郎（出 後）



田山 宏弥（上野忍町）



本城 善昭（野 間）



北出 忠良（川 東）



前田 孝也（猪 田）



岩田 佐俊（印 代）

開かれた議会を知らせる 広報委員会

ケーブルテレビの活用、インターネットの活用、議会広報紙の活用から、積極的に情報を発信し、議会の活動をお知らせします。

- ◎森 正敏 ○田山 宏弥 生中 正嗣 近森 正利
中盛 汀 百上 真奈 奥 邦雄 森岡 昭二

一部事務組合 広域連合議会議員

伊賀市・名張市広域行政事務組合

- 百上 真奈 空森 栄幸 中本 徳子 岩田 佐俊
坂井 悟 桃井 隆子 安本美栄子 中岡 久徳

三重県後期高齢者医療広域連合

- 坂井 悟

伊賀南部環境衛生組合

- 中谷 一彦 本城 善昭
森 正敏 前田 孝也

むずかしい舵取り伊賀市の財政 緊縮 387億円の使い道



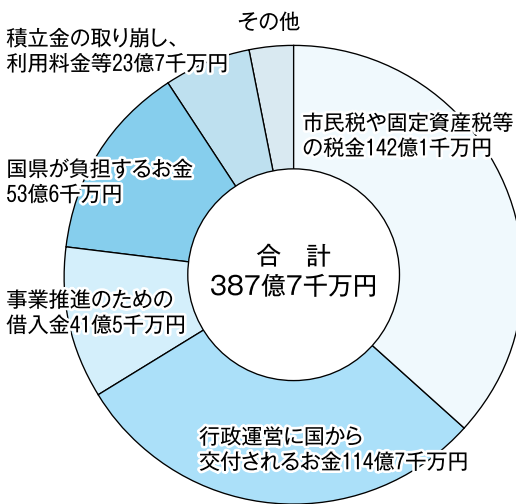
3月議会では4日間にわたって、平成21年度予算について審査をしました。

景気後退の影響をうけ、市税（個人・法人）、固定資産税の税収減の見込みや、基礎的財政収支（プライマリーバランス）、合併特例債が活用できなくなる時に備えた財政を考慮した21年度予算編成に対して、伊賀市の現状を考え適切な使い方をするのかなど審査をしました。

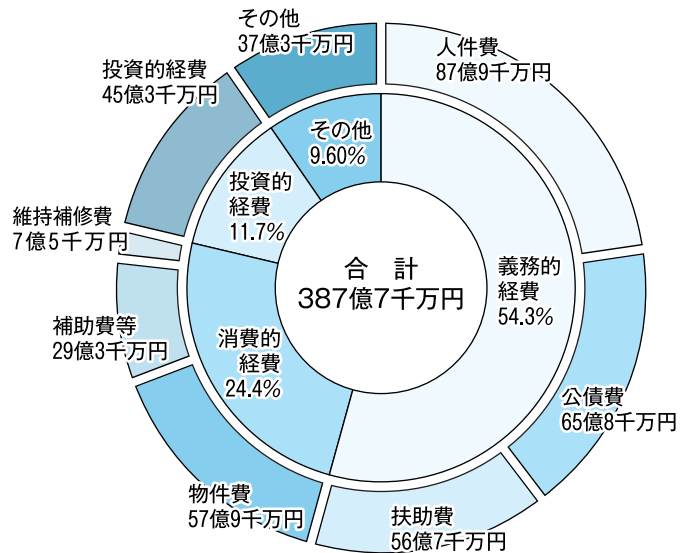
景気急変で財源が逼迫する中での予算編成でしたが、総合計画（実施計画）に基づく重点事業の遂行を優先すると同時に、より住民に近く、制度の高い情報を有している事業課が主体となり、事業の方向性などを判断し、事業評価を加え、事業選択を行うことで、地域住民のニーズに最も適した行政サービスを実現できる予算編成となりました。

21年度は昨年の予算額より34億円の減、387億円となりました。

一般会計歳入予算の内訳



一般会計歳出予算の内訳



●平成21年度の予算

平成21年度の当初予算は、市債残高の圧縮と、後年度に想定される合併での財政支援の終息時に備えた財政運営を念頭に置いた編成です。

今後も、更なる行財政改革の推進、行政運営の効率化、予算配分の重点化などにより、大規模プロジェクトを進めながら、財政の健全化を目指すこととしており、次の伊賀市の礎を築くために、重要な意味を持つ予算です。

一般会計で、前年度に比べ、8.1%の減の387億7千4百8万2千円、国民健康保険事業 特別会計など12特別会計では、全体の合計で、前年度に比べ8.3%減の2百19億1千7百55万円、企業会計では、病院事業会計、水道事業会計の2会計の合計で前年度比11.7%減の85億4千8百96万6千円、財産区特別会計では、島ヶ原財産区、大山田財産区の2会計の合計で前年度比6.0%の減の3千7百84万円で、平成21年度の伊賀市全会計の総額は、前年度比8.6%に当たる、65億2千3百31万8千円減の6百92億7千8百43万8千円となっております。

一般会計については、補正予算第1号が提案されており、主に国の二次補正予算のうち、平成21年度予算により、実施するとした「ふるさと雇用再生特別交付金事業」や「緊急雇用創出事業」について、伊賀市において取り組む事業の補正です。既定の予算額に歳入歳出それぞれ1億8百68万9千円を追加し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ3百88億8千2百77万1千円とし、補正後の全会計の予算総額は、6百93億8千7百2万7千円になります。

平成20年度の補正予算ですが、各会計を通じて、それぞれ決算見込みによる補正を行っており、一般会計、10特別会計、2企業会計、2財産区特別会計を合わせて、10億4千17万5千円の減額を行っています。

しかし一方で、※議案第57号から議案第61号までの5議案では、主に国の二次補正予算のうち、定額給付金事業や子育て応援特別手当、介護報酬改定による介護従事者の処遇の改善、及び地域活性化・

生活対策臨時交付金事業について、伊賀市において取り組む事業を、5会計で23億5百52万8千円を増額しており、22議案を合わせた補正後の全会計の予算総額を7百91億2千4百50万5千円としています。

※議案57号…平成20年度一般会計補正予算
議案58号…平成20年度介護保険事業
特別会計補正予算
議案59号…平成20年度後期高齢者医療
特別会計補正予算
議案60号…平成20年度病院事業会計補正予算
議案61号…平成20年度水道事業会計補正予算

議員全員で構成されている 予算特別委員会での様子をお知らせします

●審査の過程において出された、主な要望や意見について一部紹介します。

- 職員の通勤手当区分を細分化し、人件費の削減を。
- 審議会等への女性委員の登用は各課で取組みを強め、計画通りの実施を。
- 旧上野市と旧町村では防災情報の伝達に差があるので、十分認識して対応を。
- 職員提案制度については何十件と出るように啓発し活用を。
- 県の交通災害共済の廃止の理由や経緯、基金の活用方法について、わかりやすい資料の提出を。
- 全庁上げて事務改善を検証する運動を是非取り上げてほしい。
- 庁内の情報システムのサーバー更新の際には、新規開発も併せて実施を。
- ICカードの導入により情報漏えい等の対策強化を。
- 住民自治協議会の行う事業に対する更なる支援を。
- 納税貯蓄組合の早期廃止を。避難所誘導表示板は市民に判りやすく広報を。
- 各支所等での用件カードの運用にあたっては来客への配慮を。
- 選挙費用のチェックは選挙管理委員会事務局で確実な実施を。
- 行政組織条例に支所機能を明示し、また、本庁と支所の機能、市民センターの機能をどうするのか議論されたい。
- 保育所・園の延長保育をこれ以上縮小することのないようお願いしたい。また、4月の人事異動でも十分な配慮を。
- 市民にとって利用しやすい発達支援センターの構築を。
- 裁判員制度の開始にあたって、無料で一時保育を受け入れていただくよう検討されたい。
- 保育所の在り方の検討は、議会に中間報告をお願いしたい。
- 指定管理料については担当課を決めて金額の適正化を図られたい。
- RDFはランニングコストが膨大であるので、少しでも切り詰めていただきたい。
- 来年度も本年度並みの救急体制の維持を。
- リサイクルセンターの建設について、完成すれば毎年1億円のムダ使いであるので、事業の廃止を。
- 農業委員は業務量が増加するので、報酬の増額を。
- 米の生産調整は、県内の他の市町とのアンバランスの是正を。
- アライグマの駆除は、1匹単位での報酬体系の確立を。
- サルの駆除に特別班を編成するなど、イノシシも含めた獣害対策には更に進んだ対応を。
- 林業施策の振興を。特に間伐に関する事業の充実を。
- BDFは地場産業とするなら、民間企業の参入など、将来の採算や事業展開の見込みの考慮を。
- 農地・水・環境事業補助金は、使い勝手が良くなるよう考慮を。
- 集落営農組織の法人化に向けた指導窓口の設置を。
- 中心市街地活性化では市民中心の事業に配慮し、しっかりとした推進体制作りを。
- 市道維持補修は地域の要望の十分な反映を。
- 円徳院のJR関西線ガード手前の市道の改良は早期に実施を。
- 住宅管理人は入居者の実態把握に努められたい。
- 小中学校の図書費の充実を。外国人の高校進学支援として奨学金の特別枠の設置を。
- 収納事務は納税意識の高揚のために必要であるので、全市的な取組みを。
- 経常収支比率の低減のために人件費と物件費の抑制を。
- 債務負担行為については、将来を見据えて設定を。伊賀南部環境衛生組合清掃工場の入浴施設の脱衣場の現況調査を。
- 特定健康診査の受信率の向上に努められたい。
- 各学校での地上デジタル放送への移行に際しては、経費の節減も含めて関西の放送が視聴できるケーブルテレビで対応を。

などの意見、要望が出されましたが、市当局においては、審査を通じて出された指摘事項や要望など、十分留意の上、適正な予算執行をするよう要望します。



第2回伊賀市議会定例会では、6人の議員が各会派から代表質問、14人の議員が市の諸問題について質問をしました。

※3月議会のみ代表質問を認めています。質問した項目と質問の一部を紹介します。

市政のここが聞きたい！

◆会派から代表質問を行った議員

今井 由輝 ・奥 邦雄 ・森本 魁 ・小丸 勅司 ・本村幸四郎 ・松村 頼清

◆一般質問を行った議員

中本 徳子 ・葛原 香積 ・前田 孝也 ・桃井 隆子 ・本城 善昭 ・森永 勝二
森野 廣榮 ・馬場登代光 ・宮崎 由隆 ・英 成樹 ・坂井 悟 ・岩田 佐俊
勝矢 節義 ・大西 保定

会派からの代表質問

今井 由輝 議員（維新の会）

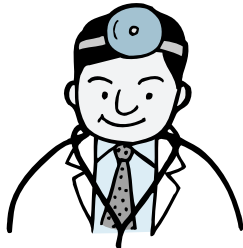


- ・施政方針について
 - ①健康、福祉について
 - ②生活、環境について
 - ③産業振興について
- ・教育行政方針について

質問

救急輪番制の今後の対応は

救急輪番制の中で今、患者の方は名張の病院までいくのは遠いので困るとの声が多いです。救急車の受入れ拒否件数は、昨年4月から12月まで、名張市民病院98件、岡波総合病院32件、上野総合市民病院5件と聞いていますが、今後の対応はどのようにするのですか。



答弁

3病院の話合いの中で進めていきます

医師不足は伊賀だけの問題ではなく、どこも大変な状況です。医師の数は、名張市民病院23名、岡波総合病院25名、上野市民病院18名となっており、一次の応急診療所と二次の輪番制で21年度は対応をはかってまいります。この体制をいつもでも続けていくことも難しいと思いますので、今後3病院の話合いの中で進めていきます。また、救急車利用患者の60%は、一次応急で対応でき、40%の患者は二次対応すれば拒否件数も減っていくので、市民の方々に、この点について意識啓発を行って、安心していただける医療施策を行ってまいります。

奥 邦雄 議員（親和クラブ）



- ・施政方針について
 - ①伊賀市交通計画について
 - ②農業政策の現状と方向性について
 - ③病院運営と救急医療について

質問

コミュニティバスをはじめ地域の交通対策の改正を

市民の利用しやすい交通体系にしてほしいとの要望が多い中、今の基幹、準基幹、地域コミュニティといった体系ではなく、利用の多い朝夕の時間延長等、要望先をしっかりと定め、計画書の目的とされる、サービスの不均衡是正と、地域の特性に応じた、持続可能な交通体系が市民のニーズであり、新しいニーズに応えた改正が必要と考えますがいかがですか。

答弁

交通計画の見直しを考えます

三重交通バスも乗客の減少で廃止の方向で検討され、さらに各支所のコミュニティバスも利用者が少なく厳しい状況にあります。今後交通計画の見直しも考えたいと思います。



森本 颯 議員 (改革クラブ)



- ・市民が目指す伊賀市の将来像について

質問

市長が目指す伊賀地域発展の将来像は

伊賀地域の経済発展には、広い意味で観光産業の寄与するところが大きいです。複合的な産業を発展させ、これに繋げる必要があると思います。また、バランスのとれた発展をするには、住民自治協議会の果たす役割が大きく、広大な面積の市域に公共施設をどのように配置するのがベターなのか基本構想がなければならないと思います。加えて今後廃校などによる遊休施設の利活用が必要と思いますが、これらについての所見を問います。

答弁

地域特性を生かしバランスのある市に

農業特区構想など他産業との連携を図り、観光に通じる地域経済発展への施策を講じます。6次産業構想も持ち、バランスのとれた全市の発展には、住民自治協議会の果たす役割が非常に大きいです。それぞれの住民自治協議会による、地域のあらゆる資源活用の提案に基づき、市の計画に取り入れたいと思います。また、住民自治協議会への助成のあり方についても、住民自治協議会と相談をして見直したいと思います。

本村 幸四郎 議員 (公明党)



- ・内保市政の政治姿勢を問う
- ・予算編成方針について

質問

住民自治協議会の設置目的と、自治会との違いについて

自治基本条例による、住民自治協議会が設置されて4年が過ぎましたが、多くの現場ではこれまでの自治会と住民自治協議会の設置目的や、役割の違いが混乱しています。市民の目に見える市長の説明を求めます。

答弁

自治会は住民の意志により作られた任意の組織、自治協議会は伊賀市の条例により作られた、市民が主役の自治を目指して作られた組織

自治会、区長会は、50年の歴史を持ち、その地域の住民の直接の行事、行政からの連絡等を行い、会長、区長は直接住民から選ばれる組織です。住民自治協議会は小学校単位にそれぞれ地域に合ったまちづくりを目指し、それぞれ多くの市民が、区長、自治会長を中心に参加し、37地域が自分たちの意志で運営するものです。また、自治会等で解決できない地域の問題に取り組む市民が中心になって進める組織です。

小丸 勅司 議員 (絆会)



- ・施政方針について
- ・教育行政方針について
- ・予算編成方針について

質問

伊賀市リサイクルセンター建設問題

12億円を超えるプロジェクトにもかかわらず、議会への説明がなかったのは議会軽視と言わざるを得ません。落札率が99.97%であること、3社中2社が入札を辞退するなど、闇カルテルにあたるものと推測されます。さらに、15年の耐用年数で、本体工事12.7億円、これに維持管理費8.6億円、人件費6.9億円、合計28.2億円です。これを15年で割ると、年間1.9億円となり、膨大な後年度負担が必要です。ちなみに、市内民間業者は、これを7~8千万円で委託処理ができるということです。ならば、年間1億円以上安くなるのではないですか。

答弁

庁内の体制を改めます

議会に説明がなかったことを反省しています。発注については、状況を承知していません。仮契約の段階で書類が回り、今後こうしたことのないよう、庁内の体制を改め監督していきたいと思っています。

松村 頼清 議員 (爽風クラブ)



- ・施政方針について
- ・教育行政方針について

質問

公共下水道上野処理区は

上野市街地の公共下水道はどのように進められているのですか。今日までの計画では今後50年ほどかけて、800億円の事業費だと聞いていますが現実的なことですか。

私としては、処理地域のエリアを区切って街中の空き地を利用し、処理施設は地下に、上には公園と公衆トイレを設置するというのはいかがでしょうか。

答弁

スピードを速めて議論をし取り組みたい

生活排水対策につきましては、生活環境としての基本的な部分にもかかわらずスムーズに進んでいません。上野処理区につきましては、スピードを速めて議論を進めて取り組んでいきたいと思っています。また、提案もひとつの方法だと思いますが、都市マスタープランに基づく都市計画の線引きの件もあり、取り組む手法については、あらゆる事を意識しながら考え、検討をしていきます。





一般質問

中本 徳子 議員



- ・川上ダム建設について
- ・鳥獣害対策について
- ・伊賀地域の医療体制について

質問

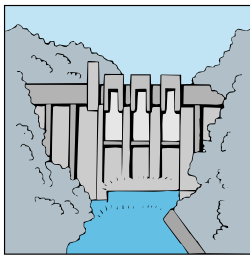
早期に川上ダム建設工事の着手を

川上ダム建設促進により、早期の整備計画策定から、ダム本体工事の着手へ向けての強力な推進を図っていただきたいのですが、その所見を伺います。

答 弁

事業推進に努力をしたい

ダムの本体工事の早期着工と、事業費の縮減に努力をしていきたいと思っております。またそれと共に、旧青山町からの約束事の履行と、ダム関連の事業推進に努力をしてまいります。



桃井 隆子 議員



- ・伊賀地域の医療体制

質問

安全で安心できる医療体制の構築は

新臨床研修医制度が実施されて以来、医療の地域格差が顕在化してしまいました。市民病院の村山院長は、議会で何度も『若い医者が来なくなるような、医療環境を整えることが重要である』とされています。

今や伊賀の医療体制は、一時の猶予もないくらい追い詰められた状況にあるかと思われそうですが、設立準備委員会の進捗状況、今後のスケジュールについて伺います。

答 弁

市民の医療体制は守ります

今後、1～2回程度、伊賀地域医療体制整備計画検討委員会設立準備会で協議を重ねたうえで、委員会を立ち上げ、平成22年度を目標に伊賀地域の将来の医療体制について結論を得たいと考えています。



前田 孝也 議員



- ・遊休農地対策の強化
- ・危機管理の拡充

質問

伊賀市の災害対策組織のあり方は

阪神淡路の大震災時には、消防団の末端の、自主自衛組織が機能せず大きな災害を招いてしまいました。地域防災活動委員(自衛官OB)が現在、全国的に増加傾向されてきている状況にあります。更に、中部方面の配置が最も多く、56名で、東海地震への配慮がされています。こうした背景での伊賀市における、災害対策組織のあり方を伺います。

答 弁

三重県隊友会と災害協定書の締結をしました

三重県自衛官OBの構成されている三重県隊友会と昨年3月、災害時についての災害協定書の締結をし、伊賀市の複合型総合防災訓練にもご参加頂きました。今後も隊友会と関係を密にして専門的な知識と経験を活用し、地域の防災力の向上にご指導を頂き、伊賀市の防災災害活動に、ご指導をお願いし、地域の安全確保に努めていきたいと思っております。

本城 善昭 議員



- ・農業力をたかめるには
- ・観光力をたかめるには

質問

有機農業を推進するには

安全・安心な食料生産に必要な有機農業を推進するには、どのような取り組みをしていますか。法4条に、「市は有機農業に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する」と規定していますが。

答 弁

交付金制度あります

現在の取り組みは、農地・水・環境保全向上対策事業の一環で、一定のまとまりを持って化学肥料、化学合成農薬を五割以上低減する取り組みに対し、交付金を交付する制度があります。市も菜の花プロジェクトを環境に優しい事業として実施しております。環境に優しい農業はモラルの高い農業で、伊賀の農産品のブランド価値を高めることで有利販売を支援していきたいと考えています。

このようなことから、農業生産者の支援だけでなく、農業者と消費者の相互理解と交流を深める事業も推進していきたいと考えています。

森永 勝二 議員



- ・子どもの医療費を小学校卒業まで無料にしてはどうか
- ・産業廃棄物、一般廃棄物の他県からの持込みについて
- ・自衛隊への入隊適齢者名簿の提出を拒否すること
- ・駅前開発の生涯学習室に楽器を練習できる防音室の設置を

質問

子どもの医療費を小学校卒業まで無料に

子どもの医療費について、小学校卒業まで無料にしてはどうか。その場合、予算はいくら必要になりますか。また、現物支給についていつになったら実施するのですか。

答 弁

1億4千万円が必要です

昨年9月から入院・通院あわせて義務教育就学前まで実施しているところです。小学校卒業までは1億4千万円が必要です。いずれにしても厳しい財政状況のなかで金額も多額です。しかし、一方では子育てとか、少子化対策でということもありますので、今後検討をさせていただきます。また、窓口給付の現物支給につきましては、県と29市町で構成しております、福祉医療費助成制度検討委員会で現在検討をしているところです。22年度を目途に結論を出すよう、現在進めております。

馬場 登代光 議員



- ・線引き（市街化区域、市街化調整区域）について
- ・庁舎、芭蕉翁記念館について

質問

線引き（市街化区域、市街化調整区域）はいつまで続けるのか

線引きは昭和43年度より都市計画法に基づき実施されていますが、旧6市町村のうち、線引きを実施しているのは旧上野市のみです。いつまで線引きを続けていくのかたずねます。

答 弁

市民の声を聞き前向きに取り組みたい

伊賀都市マスタープラン策定委員会や、市民の声を聞いて、出来るだけ早く前向きに取り組んでいきたいと思えます。



森野 廣榮 議員



- ・合併後の検証について
- ・広告掲載事業の現状について
- ・伊賀市における自殺対策の取り組みについて
- ・循環型社会をめざして

質問

ここと命を守る推進体制を

全国の自殺者数は、10年間連続3万人を超え、三重県では平成21年度に「三重県自殺対策行動計画」（案）が策定されます。特に市長に対して推進体制の充実に向けた自殺対策担当窓口の設置が求められております。設置について伊賀市が行う自殺予防デーのシンポジウム開催について、事業者、市民、行政が自殺対策の取り組みをより推進していくための「ここと命を守る条例」制定についてたずねます。

答 弁

今後検討をしていきたい

自殺対策担当窓口につきましては、健康推進課でしていきます。伊賀市として行う自殺予防デーのシンポジウム開催につきましては、今後検討をしていきたいと思えます。また、条例につきましては、平成21年度に「健康21プラン」の見直し時に、委員の意見をきかせていただき検討をしていきたいと思えます。

英 成樹 議員



- ・総合計画実施計画について
- ・「集中と選択」と評価について
- ・住民自治の形成実現について

質問

期限つきの合併特例債事業方針は

駅前再開発事業、庁舎建設事業、新芭蕉記念館建設事業などの大型プロジェクトの行方については、4月に市民に提示すると所信表明で述べられました。その中で、特例債対象事業は、特例債事業の期限も迫ってきていることから合併特例債の期間内に実施する方針を示すことは出来ないのか。

答 弁

ランドデザインを描き、市民に提示したい

大型プロジェクトの続く中で、駅前再開発事業は計画通り実施していきたい。庁舎建設につきましては、特例債の期間内で実施できるよう、庁内での検討委員会、議会の庁舎検討委員会のみなさんと相談しながら、期間内の実施に向けて検討させていただきたいと思っています。尚、大型プロジェクトにつきましては3月にランドデザインを描き、4月には市民のみなさんに提示させていただきたいと考えています。

※「ランドデザイン」

長期にわたって遂行される大規模な計画

坂井 悟 議員



- ・ 施政方針について
- ・ 保育園（市立）の課題と問題について

質問

保育園（市立）の現状と対応策は

保育現場の大変厳しい状況の中、平成21年度から保育士の配置基準を市の基準（例えば1歳児で保育士1に対し幼児5）から国の基準（1対6）に合わせると聞いています。また、定員適性化の中で保育士の減員が図られていますが、保育士の負担増と減員分の対応はどうするのですか。また、伊賀市22園の解放保育の現状を伺いたい。

答 弁

減員は臨時職員で対応します

保育士の確保に苦慮しており、定期、継続的に臨時職員を募集しています。人員が確保できれば市の基準に近づけていきたいと思っております。定員適性化計画の中で、減員はやむをえず、減員分は臨時職員で対応せざるをえないと考えます。

また、幼児期から解放保育に取り組む事は、保育目標にもありますように非常に重要だと認識しています。平成19年2月に伊賀市解放保育研究会を設置し、研修会・交流会を実施してきましたが、各園取り組みに濃淡があるのが現状です。今後は、内部で議論を重ね、充実した解放保育ができるよう努めます。

勝矢 節義 議員



- ・ 伊賀市行財政改革大綱、後期実施計画について
- ・ サンピア伊賀の経営とその見直しの考えは
- ・ しらさぎ運動公園整備事業について

質問

リサイクルセンターは年1億円の無駄遣いでは

今、準備しているリサイクルセンターは、設計価格12億7050万円、契約金額12億7018万円、実に99.9%の落札率です。耐用年数15年、本体工事12億7000万円、維持管理経費15年で8億5900万円、人件費同じく6億9000万円で、1年間当たり1億8000万円にもなります。これを民間事業者に委託すれば、年8000万円程度ですみます。行政という非収益活動でも、経済性、効率性、効果性といった3Eの原則は追求すべきです。議会もしっかりこれらを議論していれば否決したはずで、市民の理解が得られないと思います。これを凍結すべきと考えますがどうですか。

答 弁

議決され本契約へ進めています

説明不足でした。議決もいただき本契約も進めています。国の循環型社会形成維持交付金の手続きも進めています。ご理解をいただきたいと思います。

岩田 佐俊 議員



- ・ 教育行政に関して
- ・ 上野市駅前地区市街地再開発事業に関して

質問

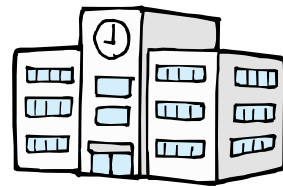
校区再編（仮称上野東部地区）に関して

府中・中瀬・両小学校の統合進捗状況と府中小学校老朽化、危険校舎のため、早急に閉校となる府中中学校校舎を小学校として使用すべきだと思いますが、どうですか。

答 弁

統合に向けて努力をしていきたい

両小学校の統合については、中瀬地区の皆さんの合意を得られていません。今後統合に向けて努力をしていきます。また、閉校となる校舎を小学校として使用してはとの事ですが、教室を増設する必要があります。また、給食の問題や統合しなければ補助金が出ないといった事もあり、早急に移転する事は無理です。しかし、府中小学校の子供たちが、新しい教育環境で学べるように考えていきます。



大西 保定 議員



- ・ 差別撤廃と「人権侵害救済法」の取り組みについて
- ・ やはた人権まちづくりの推進について

質問

やはたの人権まちづくりの推進は

だれもが住みやすいまちづくりを推進しようという事で、「やはた人権まちづくり協議会」が発足しましたが、市は、具体的にどのような支援をしているのですか。



答 弁

やはたまちづくり計画を策定していきます

やはた地区における改良公営住宅の中には、耐用年数を過ぎているものもあり、整備が必要な状態です。協議会の活動費は1/3を地元が負担しますが、国1/3、市1/3の補助金を交付しています。具体的には、22年「やはたまちづくり計画」策定にむけ、円滑に推進できるよう、引き続き、「やはた人権まちづくり協議会」の方々と協調、協働し、誰もが住みよいまちづくりを目指していきます。

開かれた議会を目指して

伊賀市議会では、議会基本条例第18条により、議案に対する各議員の対応を議会広報で公表し、情報提供に努めています。
 去る1月22日に行われた臨時議会と2月12日から3月5日まで行われた定例会の審議結果をお知らせします。

議案等の審議結果をお知らせします。

第1回臨時議会では、継続審査となっていた案件1件、第2回定例会では、市長提出案件64件、継続審査となっていた案件1件、請願1件、継続となっていた請願1件をお知らせします。

付託委員会 (総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業経済常任委員会 建：建設水道常任委員会 予：予算特別委員会)
 審議結果 (可：可決 否：否決 継：継続 採：採択 不：不採択)
 審議の詳細 (全：全会一致 反：反対 退：何らかの理由で自席にいなかった)
 ※議案第38～41号、議案第52～54号、議案第62号について、本城(欠)



議案番号	案 件	付託委員会	審議結果	審 議 の 詳 細
------	-----	-------	------	-----------

臨 時 会

213号	工事請負契約の締結について	資源化ごみ等の処理施設建設(仮称：伊賀市リサイクルセンター)	教 可	反…葛原、本村、小丸、山岡、中本、今井(由)、勝矢、空森、本城 欠…恒岡、今井(博) 小丸：12億円を超える事業に議会への説明がない。100%に近い入札価格。いったん白紙にしてほしい。 本城：不当に高い価格ではないか。民間委託はしないのか。
------	---------------	--------------------------------	-----	---

定 例 会

1号	平成21年度三重県伊賀市一般会計	経済状況、景気動向により、市税等の減収が想定額を超えたため、健全財政の維持を前提としながら、前年度比8.1%、約34億円の減、387億7千万円の予算となりました。 主な支出はリサイクルセンター整備事業、統合幼稚園建設事業、ゆめが丘摺見線道路新設、友生小学校増築事業などです。	予 可	反…森永 森永：川上ダムの反対、同和問題はすみやかに終結されたい。
2号～13号 16号・17号	平成21年度特別会計事業 国民健康保険事業、簡易水道、住宅新築資金等貸付、駐車場事業、老人保健、介護保険事業、農業集落排水事業公共下水道事業、浄化槽事業、サービスエリア、市街地再開発事業、後期高齢者医療 島ヶ原財産区、大山田財産区	一般会計とは別に設けられる、独立した経理管理が行なわれる会計のことをいいます。 国民健康保険事業は、直営診療施設定診療所費を合わせ、90億2019万円、簡易水道事業5億9272万円、住宅新築資金等貸付7381万7千円、駐車場事業5735万円、老人保健5454万円、介護保険事業、介護サービス給付費の増加や市町村特別給付費の新設のため70億2488万円、農業集落排水事業23億9674万円、建設改良費として14億7800万円、公共下水14億8617万円、浄化槽事業6412万円、サービスエリア2623万円、市街地再開発事業1億4288万円権利者への損失補償、仮店舗などの経費、後期高齢者医療9億4787万円、後期高齢者医療広域連合納付金が主なもの、島ヶ原財産区2998万円、大山田785万7千円、造林事業、作業道の新設工事費など	予 可	国民健康保険事業 反…森永 森永：高い保険料、一般会計から繰出し保険税を下げるべき 介護保険事業 反…森永 森永：介護報酬3%増介護保険制度に反対 市街地再開発事業 反…宮崎、勝矢 宮崎：現在40%の店舗入居率のずさんな計画と、福祉施設の設置場所4・5階は反対 後期高齢者医療 反…森永 森永：後期高齢者医療制度そのものに反対 他の会計…全
14号 ・ 15号	平成21年度企業会計 病院事業、水道事業	収益的支出は、前年度比6.0%減の34億3千円を見込み、資本的支出では、耐震対策工事費、MRⅠ装置を更新する費用7億4千万円を見込んでいます。	予 可	全
18号	平成20年度伊賀市一般会計補正予算	平成20年度の20億536万円を追加し、全体総額が443万7802万円の予算総額となります。 主なものは、定額給付金給付事業16億2049万円、小学校施設整備事業1億97万円、子育て応援特別手当事業6030万円です。	予 可	反…森永 森永：不況で将来の見通しが不明中、サンピアに200万円の市税を投入する事に反対

19号～ 30号 33号・ 34号	平成20年度特別会計 事業補正予算 国民健康保険事業、 簡易水道、住宅新築 資金、駐車場事業、 老人保健、介護保険 事業、農業集落排水 事業、公共下水道事 業、浄化槽事業、サ ービスエリア、市街 地再開発事業、後期 高齢者医療 島ヶ原財産区、大山 田財産区		予	可	反…葛原、本村、小丸、山岡、中本、今井(由)、 勝矢、空森、本城 欠…恒岡、今井(博) 小丸：12億円を超える事業に議会への説明がない。 100%に近い入札価格。いったん白紙にし てほしい。 本城：不当に高い価格ではないか。民間委託はしな いのか。
32号 ・ 33号	平成20年度企業会計 補正予算 病院事業、水道事業		予	可	全
35号	伊賀市交通安全対策 事業基金条例の制定	三重県交通災害共済事業の廃止に伴い、これ までの基金を共済事業を実施した市町に交通 安全対策事業交付金として処分されます。伊 賀市として基金運用により活用するものです。	教	可	全
36号	伊賀市高齢者施策運 営委員会条例の制定	委員会運営に関する事務の効率化を図り、高 齢者施策に関する事項の検討を総合的に所掌 する委員会を設置するものです。	教	可	全
37号	伊賀市サービスエリ ア施設管理基金の設 置、管理及び処分 に関する条例の制定	施設の健全な運営、維持管理を図るために新 しい条例を制定するものです。	産	可	全
38号	行政組織変更に伴う 関係条例を整理する 条例の制定	住民サービスの向上と事務処理の効率化を図 るため、少子化対策課をこども家庭課に、税 務課を収税課と課税課に分課しようとするも のです。	総	可	全
39号	伊賀市職員定数条例 の一部改正	上野総合市民病院の職員以外の職員数を 876人から786人に改めるものです。	総	可	全
40号	伊賀市市税条例の一 部を改正する条例	寄付をした場合に受けられる寄付金控除を、 地方公共団体、日本赤十字社以外に、個別の 団体を指定したものです。	総	可	全
41号	伊賀市個人情報保護 条例の一部改正につ いて	統計法が全部改正され、統計報告調整法が廃 止されることから改正しようとするものです。	総	可	全
42号	伊賀市地区市民セン ター条例の一部改正 について	島ヶ原地区市民センターの開設に伴う名称及 び位置を追加したものです。	教	可	全
43号	伊賀市自転車等駐車 条例の一部改正	本年3月末に指定管理期間満了となり、今後 の管理コストの削減が期待できない施設と考 えられることから、来年度以降市が直接管理 するというものです。	教	可	全
44号	伊賀市清掃施設の設 置及び管理に関する 条例の一部改正	紙、布の一時保管するためのストックヤード を建設するにあたり、名称、位置、搬入時間、 搬入許可など改正するものです。	教	可	全
45号	伊賀市子育て支援セ ンターの設置及び管 理に関する条例の一 部改正について	子育てを支援する環境づくりをより一層充実 するため、あやま文化センターから、阿山保 健福祉センターへ移転しようとするものです。	教	可	全
46号	伊賀市放課後児童ク ラブ設置及び管理に 関する条例の一部改 正について	島ヶ原地区市民センター内に子育て支援セン ターと共に、放課後児童クラブを移転するも のです。	教	可	全
47号	伊賀市国民健康保険 診療所条例の一部改 正について	霧生診療所の再開に伴う条例の改正です。	教	可	全
48号	大山田農村環境改善 センターの設置及び 管理に関する条例の 一部改正について	大山田農業環境改善センターの使用料、施設 の利用状況に沿った条例を改正するものです。	産	可	全

伊賀市議会だより 2009.5.15

49号	伊賀市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	使用水量により汚水量を算定している全ての地区において基準の見直しをし、新たに算定方法の規定を設けるものです。	建	可	全
50号	伊賀市青少年センター条例の一部改正について	青少年センター運営委員会の組織、委員の選任及び運営方法等と、補導員の選任方法を改正しようとするものです。	教	可	全
51号	伊賀市伊賀支所農業総合センター設置及び管理に関する条例の廃止について	農業総合センターとして機能を有していなく、現在、西柘植地区市民センターとして活用しているため、条例の廃止をするものです。	産	可	全
52号	三重県自治会館組合規約の変更に関する協議について	組合の共同処理する事務に新たな業務が追加されたものです。	総	可	全
53号	伊賀市・名張市広域行政事務組合規約の変更に関する協議について	青山の屋根付きゲートボール事業に伴う、精算の結果不用額が生じたための、規約の変更を協議するためのものです。	総	可	全
54号	伊賀市危機管理大綱の策定について	あらゆる危機事態に、共通した組織運用で対処を行うため、組織の編成や運用の基本となる大綱を制定するものです。	総	可	全
55号	市道路線の認定について	12路線、延長8474.3mを市道として認定するものです。	建	可	全
56号	市道路線の廃止について	2路線、延長1072mを廃止するものです。	建	可	全
57号～61号	平成20年度伊賀市一般会計補正予算 特別会計補正予算 介護保険事業、後期高齢者医療 企業会計補正予算 病院事業会計補正予算、水道事業会計補正予算		予	可	全
62号	職員の勤務時間改定による関係条例を整理する条例の制定について	国の人事員勧告により週の勤務時間を40時間から38時間45分に改めるものです。	総	可	全
63号	土地の取得について	市立上野南地区中学校建設用地を取得するものです。	教	可	全
64号	平成21年度三重県伊賀市一般会計補正予算		予	可	
149号	指定管理者の指定について	きらめき工場の指定管理について、法人洗心福祉会に移行させること。	教	可	反…森野、山岡、森永、宮崎、中本、坂井、森、本城 森永：保護者の納得が一番大事、指定管理について反対 宮崎：委員会として十分調査をしたか。指定管理の移行はこれでよいのか。 坂井：法人に対して不安を感じていることに対して、指定管理はこれでよいのかと思う。
請願第39号	きらめき工場の指定管理に関することについて	きらめき工場の指定管理について、保護者会と市が再三意見交換会をしたが、法人洗心福祉会と市が合意した項目がないため、指定管理制度について否決するよう請願書が提出されました。	教	不	反…森野、山岡、森永、宮崎、中本、坂井、本城 ※常任委員会でも不採択となり、議会で不採択する事の賛否がとられました。
請願第40号	府中小学校の早期移転を求めることについて	府中小学校の耐震性について危険な状態と感ずる旨、平成21年4月より府中中学校への移転、平成21年度夏休み期間中に必要な改修工事を求める請願書が提出されました	教	採	反…宮崎、中本、坂井

2月12日の本会議で委員会に付託された議案について4つの常任委員会で審査をおこないました。
 委員会で審査された内容を要約して一部紹介します。また、庁舎建設問題特別委員会の委員長報告がありました。委員長報告の一部を紹介します。



多く設けることで、市民の方々に情報をお知らせできると共に、市民の方々からも情報をいただけるものを整備していくことを検討しています。

審査の結果、本案は全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

教育民生常任委員会

継続案件 1件
 審査案件 10件
 請願 2件

議案第35号

「伊賀市交通安全対策事業基金条例の制定について」

三重県交通災害共済事業の廃止に伴うものです。
 これまで造成された交通災害共済基金を、交通事故防止の喚起を図ることを目的に、市町交通安全対策事業交付金として、共済事業を実施した市町に対し交付することで処分されることになりました。伊賀市として当該交付金を、基金運用により活用することです。

主な内容は、基金の設置、積立て、管理、運用益金の処理、処分などについて規定しており、県からの伊賀市への交付金は、4千7百4万2千円、積立てようとする額は、同額の4千7百4万2千円を予定しているものです。

質 交通安全協会とタイアップした事業は考えられないか。また、年間を通じた活動費と考えられないか。

答 啓発物品や印刷については、伊賀市と交通安全協会の連名で負担もいたいただきながら協力していきたいと思えます。また、年間を通じ、事業的なものとしての支援を考えています。

審査の結果、本案は全会一致で可決すべきものと決しました。

産業経済常任委員会

審査案件 3件

議案第37号

「伊賀市サービスエリア施設管理基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について」

伊賀市サービスエリア施設の健全な運営、維持管理を図るために新たに条例を制定するものです。

条例には、基金の設置や積立てのほか、管理、処分などが規定されています。

総務常任委員会

審査案件 8件

議案第54号

「伊賀市危機管理大綱の策定について」

あらゆる危機事態に対し、市民の生命、財産を保全し、安心、安全なまちづくりを共通した組織運用で対処を行うために策定したものです。主な内容は、平時から危機に備えるための事前対策、危機発生時の応急対策、危機発生後の事後対策など重点事項を掲げていることです。

質 パブリックコメントでの市民の声は、どのようなものがあつたのか。

答 現在の避難所では収容出来ない可能性があると考えていただきたい意見がありました。

質 旧上野市地域の防災行政無線が整備されていないが。

答 平成18年3月での計画は、140本の拡声小局を設置する予定でしたが、31本の設置状況です。当初の計画からするとまだまだ整備されていない現状です。

質 スピーカーでミュージックサイレンを鳴らしているが、夜は必要無いと市民の声もあるが。

答 防災とは別で、夜のサイレンは、青少年健全育成という観点から、「早く家に帰ろうよ」というための曲を選曲し、目的をもって設置した経緯があります。時代が代わり、必要がないと言われた方もいますが、再度、こういう主旨で鳴らしているという啓発を検討していきたいと考えています。

質 危機管理基本計画の見通しは。

答 現在、精査している段階で、本大綱の議決後に、危機管理推進会議で決定し、1年以内に個別マニュアルを作成していきます。

質 防災行政無線は災害時において情報が遅いため、他の方法で市民に緊急情報を伝達することは考えているのか。

答 来年度市民向けの防災メールを考えており、本年度、土砂災害情報相互通報システムを整備し、インターネットに接続できるパソコン又は携帯電話を持つ方であれば、市域を5kmメッシュに割り、県が出す、「注意」、「危険」、「避難」の3段階表示をお知らせするシステムを整備しています。また、今後もこうしたツールをより

庁舎建設問題特別委員会

3月5日議会最終日に、庁舎建設問題特別委員会の審査報告書が議長宛に提出されました。その全文を報告をします。

伊賀市議会庁舎建設問題特別委員会 審査報告書

～市民の安心・安全とより良いサービス提供に繋がる
庁舎建設について～

市の庁舎は、行政の執務空間、会議室、書庫等で使用する事務所としての機能はもとより、窓口業務、相談業務、情報の提供・公開など住民サービスの中心的な役割を担うとともに、災害時の避難場所や復興拠点としての働きが望まれるところであり、それらに加えて、自治基本条例に定める「まちづくり」への市民参加や言論の府である市議会活動の場など、市のシンボルとして位置づけられるものである。

一方、本市では合併後5年目を迎え、来客等の流れが本庁に集中する中で、職員の集約化もある程度は止むを得ない状況にあり、ひいては事務スペースとしては駐車場も含めて狭隘となってきたため、市民からは使い勝手の良い庁舎を望む声が多く、それと相まって、郊外での庁舎整備と跡地利用の可能性を模索する意見がある半面で、ユニバーサルデザインに配慮したバリアフリー化や公共交通機関との連携、移動困難者の利便性の確保などの意見も聞かれるところである。

こういった課題等を踏まえ、本委員会においては他市の状況も視察し、研究・議論を重ねた結果、庁舎建設の方法としては、新市の一体感の醸成や防災上の観点からも新築すべきという結論を委員の総意として確認し、さらには、建設位置について、昨年11月に三重県下で初めて内閣総理大臣より中心市街地活性化基本計画の認定を受けた経緯もあることから、近世以来、伊賀盆地の政治・行政・商業の中心であった上野丸之内の現在の場所を、広い駐車場の整備を条件として、賛成多数で決定したものである。行政当局においては、今後、市民の意向を十分反映するとともに、市の財政状況を考慮した上で、市民サービスの向上と安心・安全な生活の拠り所となる新庁舎を建設されるよう強く求める。

以上、報告する。

平成21年3月5日

伊賀市議会議長 森岡昭二 様

伊賀市議会庁舎建設問題特別委員会

質 サービスエリアの事業収入や敷地内でのガソリンスタンドの営業、トイレ等の管理、契約等について、どのようになっているのですか。

答 20年度では、年間1100万円程度の収入を見込んでいます。また、トイレ等の施設は国土交通省の所有ですので、清掃管理は民間企業が行っています。

経営は、平成16年度から15年間の営業委託契約を民間企業と締結しています。

審査の結果、本案は全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

建設水道常任委員会 審査案件 3件

議案第49号

「伊賀市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例等の一部改正について」

「伊賀市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例」、「伊賀市公共下水道条例」及び「上野新都市産業汚水処理施設の設置及び管理に関する条例」の三つの条例の一部を、それぞれ改正するものであります。

改正理由は、使用水量により汚水量を算定し、下水道使用料金を徴収している場合の算定方法について、実際の使用水量と排水量に差が生じることがあることから、使用水量により汚水量を算定している全ての地区において基準の見直しを行ない、新たに算定方法の規定を設けます。主な内容は、使用者がその営業に伴い、使用する水量と排除する汚水の量とが異なるものを営む場合、市長は、使用者に計測装置を取り付けさせ、その使用月に排除した汚水の量及びその算出の根拠を記載した申告書を提出させるものとし、下水道使用料金の算定にあたっては、その申告書の記載内容を勘案して排除した汚水の量を認定することとし、その他、所要の整備をしています。

質 水道で漏水があった場合の取扱いについてどうなるのですか。

答 宅内配管での漏水については、上水道での使用料金の状況を勘案して、算定させていただきます。

審査の結果、本案は全会一致で可決すべきものと決しました。

本条例の一部を、改正するものです。



議会のうごき

2月

- 3日 伊賀市名張市広域行政事務組合議会 全協・本会議
- 4日 庁舎建設問題特別委員会
- 5日 議会運営委員会
- 12日 本会議（開会）
議会運営委員懇談会
議員全員懇談会
- 13日 議会運営委員会
- 18日 代表質問
- 19～20日 一般質問
議会運営委員懇談会
議員全員懇談会
- 23日 一般質問
議会運営委員会
議会運営委員懇談会
議員全員懇談会
- 24～26日 予算特別委員会
- 26日 議会運営委員懇談会
- 27日 総務・教育民生常任委員会

3月

- 2日 建設水道・産業経済常任委員会
- 3日 庁舎建設問題特別委員会
- 4日 予算特別委員会
- 5日 本会議（閉会）
議会運営委員会
教育民生常任委員会
議会運営委員懇談会
議会運営委員協議会
議員全員協議会
議員全員懇談会
- 22日 市議会議員選挙投票日

4月

- 2日 議員全員懇談会
- 7日 議員全員協議会
- 10日 会派代表者会議

開かれた議会をめざして

議会の傍聴してみませんか



議会の会議は、どなたでも傍聴していただけます。
6月定例会は午前10時からケーブルテレビでも生
中継しています。（再放送は午後7時から）

日 程 (予定)

※変更する場合があります。

6月 4日 (木)	本会議 (開 会)
10日 (水)	本会議 (一般質問)
11日 (木)	本会議 (一般質問)
12日 (金)	本会議 (一般質問)
15日 (月)	本会議 (一般質問)
16日 (火)	予算特別委員会
17日 (水)	各常任委員会
18日 (木)	各常任委員会
23日 (火)	本会議 (閉 会)

議会だよりに関するご意見をお寄せ下さい

TEL 0595 (22) 9687
FAX 0595 (24) 7901

編集後記

伊賀市になって二回目の市議会議員の選挙が三月二十二日に執行され、今後四年間にわたって二元代表制の一翼を担う二十八名の議員が誕生しました。

四月十四日には、臨時議会が開催され、正副議長が決定し、また各委員会委員も選任され、広報委員会もメンバーがガラッとかわり、新人議員四名を含む八名で担当することになりました。

今回の紙面は、二回の編集委員会を経て、臨時議会で決まった新体制の報告と、議会の改選前に行われた三月定例会の予算審議や議員質問を中心に編集いたしました。

新しい広報委員になってはじめての議会だよりの発行になりましたが、皆様からのご意見を参考にさせていただき市民と議会のいい信頼関係をつくる手段として、読みやすい、わかりやすい広報紙づくりに取り組んでいきますので、今後も皆様のご協力をよろしく願います。
(森)



広報委員会の様子